



No.189

メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	comm cafe&センター 10周年イベント報告 …… 1	カレンダー	2023年6月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
書評	『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』 …… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
コラム	めろんの編集・発行作業はどのようにして行われているのか? …… 3	編集後記	…… 8

## イベント報告

### comm cafe & 多文化交流センターは 10 周年を迎えました!

今年5月、箕面市立多文化交流センターが開館して10周年を迎えた。センターの1階にあるコムカフェがオープンしたのも10周年。「コムカフェ」としてオープンする以前からレンタルカフェなどを使用したワンデイシェフの取り組みはおこなわれていたが、店舗としてのコムカフェは、今回が10周年の節目。いままでの感謝の思いを込めて、シェフが作ったフードやデザートなどを手ごろな価格で提供する、毎年恒例の屋台イベントをのぞいてみた。



フードは、ルーバさんの「ほうれん草とカッテージチーズのカレー」、ティーさんの「牛肉のフォー」、ノックさんの「ヤムウンセン(酸っぱい春雨サラダ)」など、舌もお腹も喜ぶラインナップ。フードだけではなく、デザートも充実しており、フランクリンさんの「パイ

ナップルのパンプディング」「ココナッツミルクプリン」とナタリヤさんの「ドライフルーツケーキ」が販売され、こちらも好評のようだった。

物販ブースは、「みのおフェアトレードの会"楓"」、「架け箸」、「Ejaad (エジャード)」、「Fadas (ファードス)」が出展。来場された方が、ブースの出展者と商品や日頃の活動の話などで盛り上がっている様子が印象的だった。

コロナが5類となって初の屋台イベント。久しぶりの再会を喜ぶ様子や、おいしい料理を食べながら会話に花を咲かせる姿がたくさん見られ、ポストコロナのはじまりを実感するイベントとなった。(坂口)



イベント当日のシェフ&ボランティア&職員でパシャリ。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：333名 法人会員数：26団体 (2023年5月21日現在)



# 『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』

加藤圭木 【監修】

一橋大学社会学部 加藤圭木ゼミナール 【編】

韓国の音楽やドラマ・映画、文学が日本でも人気である。ビジネスや旅行で互いの国を行き来する人も多い。長らく「近くて遠い国」と言われていた彼の国との距離は、民間の交流面では縮まりつつあるように感じられる。一方、歴史認識や政治的な課題は山積している。本書は、日韓問題について「モヤモヤ」を抱える一橋大学の学生が、加藤圭木ゼミナール（朝鮮近現代史・日朝関係史）での学び合いをまとめ、執筆したものである。彼らは、推しの韓国の俳優やアイドルの「反日的」な言動に戸惑い、慰安婦やヘイトスピーチ、領土問題などの情報に触れ、あるいは家族や友達の「嫌韓的」な言葉に違和感を覚える。なぜ、韓国は竹島（独島）が韓国のものかというのか、なぜ韓国は「軍艦島」の世界遺産登録に反対したのか、なぜ、韓国のアイドルは兵役に行かなければならないのか。歴史を紐解きつつ日韓問題に関して深められた知見が、個々の経験も含めながら個別の記述、あるいはコラムや座談会という構成のもと書かれているのだ。

日本の終戦日である8月15日は、韓国では「光復節」で、植民地支配からの解放の日となる。それを祝うのは「嫌がらせ」ではなく、生命・人権・平和をいのるためであるというくぐりや示唆的である。また、ニュースでもよく取り上げられる「少女像」についてだが、正式名称は「平和の碑」で、慰安婦だった被害女性の尊厳の回復を訴えていた「水曜デモ」1000回を記念して建立されたのが始まりだという。二度と同じことが起こってはならないという普遍的な平和を求めるデモが結実したものだが、日本のニュースで観ると、どうも意味合いが違って映り、居心地が悪くなる。つまり「モヤモヤ」を抱くのだ。戦争や差別で受けた苦しみや悲しみが癒えはしないことに誰しも思いを致すべきだが、共生のためには、国や人によって違う史観を照らし合わせ、解

釈の齟齬を解いていく努力の必要性を強く感じる。

ちなみに本書では、「在日朝鮮人」という呼称が使われている。現在、朝鮮半島は分断されているが、朝鮮半島に出自を持つ人びとはひとつの民族であり、「朝鮮」は、「大韓民国」と「朝鮮民主主義人民共和国」を合わせた

総称であるとの説明もなされている。

筆者の印象に強く残ったのは、第四章で紹介されている「連累（れんるい）」という言葉である。これは、オーストラリアのテッサ・モーリス＝スズキという歴史学者が提唱した概念で、「現代人は過去の過ちを直接犯していないから直接的な責任はないけれど、その過ちが生んだ社会に生き、歴史の風化のプロセスには直接関わっている。そのため、過去と無関係ではいられない」というものである。以前、同じような言説をニュースで聞いたことがある。授業で戦争やナチスについて学習するドイツの高校生が、まさに連累の思想を述べ、二度とあのような過ちを起こさないように学んでいると。筆者が滞独していた二十数年前にも、生徒には何年も費やして戦時の加害についての徹底的な教育がなされていると耳にしたのを思い出す。

互いの文化を享受できる状況にある今こそ、韓国をさらに深く知る良い機会であろう。Kポップを愛してやまない人も、韓流ドラマの沼にハマっている人もそうでない人も、ぜひ、この一冊を手にとってほしい。（山下）





Mさんの「推し」のグッズたち。

今回は私が韓国にすごく関心があり、韓国に一番興味があったので、日本・朝鮮のことについての本を貸して頂いて読みました。私は「無知の知」という言葉を大切に国際交流などをしてきましたが、『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』を読んで、まだまだ知らないことがあると気づきました。

日本と朝鮮の関係や問題について知らなすぎる人は多く、そもそも興味・関心が無いと理解しようという姿勢に中々なれないのだと思いました。この本は日韓の問題だけではなく、日本と世界中の国との問題を考えるきっかけになると思います。ただ読んで自分で「理解した」で終わらせるのではなく、国際交流協会のボランティアセミナーなどで取り扱ったり、色んな人と話し合ったりすることも良いのかなと思いました。(高校生のMさん)

## 実録 めろん編集作業！

### めろんの編集・発行作業はどのようにして行われているのか？

今回は「めろん」のできるまでを紹介しようと思う。全国の国際交流協会ですら毎月このような紙媒体の広報誌を出しているところはきわめて稀らしい。また、事務局スタッフとボランティアからなる編集スタッフが議論しつつまとめていくめろん編集のスタイルもなかなかないようだ。少し自慢していいかもしれない。6月1日発行のめろんの編集作業はまず、前々月4月の第四土曜日の編集会議から始まる。記事によってはそれ以前から準備ができていたものもあるが、この会議によって6月1日号がどういう記事の集まりになるか、誰が、何文字くらいの記事にするかを決める。その会議ではさらに7月以降何を載せるか、アイデアを出し話し合っていく。原稿は5月第二火曜日の読み合わせにかけられ、修正や部分削除などが行われる。記事が整い、MAFGA マネジメントの承認とレイアウト作業が行われ、ここで初めて誌面が見えてくる。めろんの場合、印刷、発送も外注でなく、全て編集スタッフやその他の方々の協力を得て行われる。

こう書くとトントン拍子に進むように見えるが、そんなことはめったにない。記事を決める際は「MAFGAのやっていることをもっと知らせよう」とか「この記事はもっと掘り下げよう」

「もう少し柔らかい記事を」とかいろいろな意見が出るのは当然だろう。だが記事の読み合わせの時は違う。原稿の予定字数はまず守られない。時には予定字数の倍近くの原稿を書く強者もいる。まあそれだけ言いたいことがあるということだ。内容についてはときに議論百出、読み合わせの時間では足りなくて、別の日に記事の中のあるテーマだけで掘り下げて話し合うこともある。逆にあるテーマの記事を書き始める前に勉強会をすることもある。昨年度は在住外国人の医療の問題を継続的に取り上げてみた。今年是在住外国人の在留資格について考えてみよう、ということになった。とりあえず勉強会を開く予定だが、記事としてまとめられるかはまだわからない。

記事、レイアウトが全て整っても最後の印刷作業もけっこう難関なのだ。印刷機と紙折り機のご機嫌が両方ともうるわしいことはめったにない。テレビでたまに新聞社の印刷(輪転機)を見るとあのスピードで薄い紙に4色刷りし、折りたたんでいる。信じられない技術だ。我々の印刷機はさすがに手を汚さずに済むようにはなっているが…。部数は通常は1300部。印刷の翌日(最終水曜日)に発送作業が行われる。発送先は賛助会員(個人)、法人会員、市役所、



2020年9月の「発送大会」の様子。

市議会、市の各施設や図書館など、市外にも多数送られており、北海道や沖縄にも発送している。主として MAFGA と同様の活動をしている各地の国際交流協会や地方自治体の担当部署が多い。大学や高校などもある。この発送作業には、手伝いに来て下さるボランティアの方や、チラシを挟み込む団体からのお手伝いの方がお見えになり、多いときは15名以上で作業していることもあり、この作業のことを発送大会と呼んでいる。

### めろん新メンバーの紹介

めろんの編集メンバーは MAFGA の事務局スタッフとボランティアからなるが、この4月に事務局スタッフの交替があり、2名が新しく加わった。その2名からメッセージをいただいている。



### ツェレンダグワ・ムンフバヤスガラン (バイサ)

MAFGAで働いてから今年2月で5年目を迎えました。今まで、日本語教室「ささゆり」「あかね」「ひまわり」や外国にルーツのある子どもの学習支援「中高生勉強会」などを担当してきましたが、今年度から「めろん」の編集メンバーに加わりました。ボランティアのみなさんと編集会議でアイデアや意見を出し合い、「地球に見える“めろん”」を一緒に作っていくことを楽しみにしています。内陸国モンゴル出身の私が生まれ育った草原から、地球はどう見えるのかな？また、外国人当事者としての声も発信できればと思います。これからもよろしくお願いします。



### 坂口ピーター

2021年4月からしばらく MAFGA を離れて、大学でコミュニティ通訳などを勉強していましたが、このたび、MAFGAに戻ってくることになりました。MAFGAでは、箕面市内 ALT の生活相談などを担当しています。これまで担当したことのなかった「めろん」を4月から担当することになり、新鮮な気持ちでいます。大学で勉強したことも生かしながら、今までに「めろん」を読んだことがないという人にも届くように、多文化共生のエッセンスを発信していきたいです。これからもよろしくお願いします！

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



## おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	△	△	△	△	△	△

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です (口 印)

■休日診: 月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】562-0023

箕面市粟生間谷西3丁目7-9シャトー野間1F

阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

◎無料駐車場 有

072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の

### 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

6月  
June



# comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

**火・木～土**

9:30 - 11:30 朝カフェ  
11:30 - 14:00 ランチ ¥950 \* 売り切れ次第終了  
14:00 - 17:00 午後カフェ

**日・祝日** \* ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付)

**おしらせ**

**MOOK 本完成!**

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い! 1つのカフェ×6つのしょく〜食・触・職・色・織・ショック!?!」が刊行されました。この MOOK には、10年以上に及ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられています。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読んでみてください。お買い求めを希望される方は、スタッフまで直接お問い合わせください。

ス… スナック & スウィーツの日 1… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	とようび	にちようび
			1 ス MAFGA スナック	2 ジェニーさん 《シリア & アルメニア》	3 ティーさん 《ベトナム》	4 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ~ 13:00
5 休館日	6 コフさん 《タイ》	7 店休日	8 ホルマーさん 《モンゴル》	9 ノックさん 《タイ》	10 ルーパさん 《インド》	11 ス MAFGA スナック 1 ケイン樹里安にふるる トークイベント 14:00 ~ 16:00
12 休館日	13 ファルザナさん 《バングラディシュ》	14 店休日	15 フランクリンさん 《キューバ》	16 クラウドピアさん 《メキシコ》	17 ティーさん 《ベトナム》	18 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
19 休館日	20 ホルマーさん 《モンゴル》	21 店休日	22 コフさん 《タイ》	23 洪さん 《コリア》	24 1 パターづくり WS 11:00 ~ 12:30 1 Diversity Cafe 15:00 ~ 16:30	25 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ~ 13:00
26 休館日	27 フランクリンさん 《キューバ》	28 店休日	29 ノックさん 《タイ》	30 ルーパさん 《インド》		

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きよ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



# 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。  
URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

☎ : 072-727-6912 FAX : 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



## イベント情報

特に記載がないものは、箕面市立多文化交流センター で開催します。

### トークイベント

#### ZINE 「ケイン樹里安にふれる」刊行トークイベント

6/11(日)  
14:00-16:00

「ハーフ」や「ミックスルーツ」をキーワードに日本社会の課題解決に取り組んできた社会学者のケイン樹里安さんが急逝されたことを偲んで ZINE が発行されるのにあわせ、トークイベントを開催する。樹里安さんについて知り、地域の中での多文化共生についてともに考えましょう。

◎ カツラ・シャハラ・バーヌ (ZINE「ケイン樹里安にふれる」発行人) ほか

対 象 : どなたでも  
定 員 : 40名 (要申込み)  
場 所 : comm cafe  
参加費 : ドリンク代 300円



### スポーツ

#### ランチタイム! 阪大でポッチャしよう

毎月第二水曜日  
6/14(水)  
11:30-13:00

パラリンピックでも話題になった 誰もが楽しめるヨーロッパ生まれのスポーツ、ポッチャをランチタイムに体験しませんか。  
(学生・若者と地域がつながる居場所「ひとこま」企画)

場 所 : 大阪大学箕面キャンパス  
3F ピロティ  
参加費 : 無料 (申込み不要)  
主 催 : 箕面市国際交流協会  
協 力 : 大阪大学外国語学部 箕面東コミソポ

### セミナー

#### 就職支援セミナー@大阪大学箕面キャンパス

6/22(木)  
14:00-15:00

「ひとこま」を開催しているスペースにて不定期開催中。就職に関することなら、なんでも気軽に相談可 (要申込み)。今回のテーマは「日本の職場マナー、日本生活の豆知識」。

場 所 : 大阪大学箕面キャンパス  
3F ピロティ  
参加費 : 無料

### ワークショップ

#### ひーふクラブ バターづくりワークショップ

6/24(土)  
11:00-12:30

「ひーふ」とはモンゴル語で「つくる」。自分たちのまわりのものがどのようにできているのか「自分でつくる」ことを体験し、その理解につなげる。初回の今回は、バターづくり (試食・持ち帰り可能!) モンゴルでは、どのようにバターづくりがされているかも紹介します。

対 象 : どなたでも  
定 員 : 20名 (申込み先着順)  
場 所 : comm cafe  
参加費 : 一般 1,500円  
会員 1,000円



### セミナー

#### Diversity Cafe 2023 ~多様性について考えよう~

6/24(土)  
15:00-16:30

箕面市内ALT をゲストスピーカーに招き、これまでの経験やバックグラウンドなどについて話を聞き、多様性について考えるひととき。次回は8月に開催予定。

◎ オンヨゼリ ディバイン チネチェレム (萱野北小ALT)

対 象 : どなたでも  
定 員 : 40名 (要申込み)  
場 所 : comm cafe  
参加費 : ワンオーダー制



### キューズリビング

#### ことばから見えてくるその国の文化と生活 韓国編

6/28(水)  
10:30-12:00

教科書ではなく、ドラマや映画などをもとに、そこに出てくることばや会話を通してその国や地域のリアルを垣間見るひととき。お茶を飲みながら、参加者とことばの交流をしましょう。

◎ 金姫廷 (韓国出身)

定 員 : 5名 (要申込み)  
場 所 : みのおキューズモール  
CENTER-2F キューズリビング  
参加費 : 550円



## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

\*バレエコース : 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース : 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)  
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

## みんぱく

6/11 (日)  
10:30-16:30

## 音楽の祭日 2023 in みんぱく

フランスで2002年に始まった「音楽の祭典」にならい、関西でも2002年にスタートした「音楽の祭日」。「音楽はすべての人のもの」という精神にのっとり、プロ・アマ問わずみんなで音楽を楽しむイベントです。打楽器、弦楽器、管楽器、etc. 世界中の楽器が登場します！(当日整理券も若干あり)

場 所：国立民族学博物館  
みんぱくインテリジェントホール  
参加費：無料  
主 催：国立民族学博物館  
申込み：6/5(月)までにHP、TELで  
問合せ：06-6878-8532(平日10-16時)

## 大阪大学

毎月第三木曜日  
6/15 (木)  
19:00-20:00

## マンズリー多文化サロン「インドネシアのポップ・イスラム」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。講座を通して、講師・市民の相互交流や多文化共生を目指します。6月は、若者を中心にイスラム化が進むインドネシアについてフォーカスします。  
◎菅原由美(大阪大学 人文学研究科 外国学専攻 教授)

場 所：大阪大学箕面キャンパス  
1F大講義室 または オンライン  
参加費：無料  
主 催：大阪大学外国語学部  
申込み：6/5(月)からHP、TELで  
問合せ：072-730-5013

## ワークショップ

6/18 (日)  
10:00-13:00  
14:00-17:00

## まなびカフェ「仏師が教える彫刻ワークショップ」

多様な講師をお迎えするなどし、生きたまなびを皆さまと一緒に作る場。講師は仏像彫刻師ですが、仏像以外にも、動物や小物など自由な題材で彫刻の作り方を教えます。彫刻刀がはじめてのお子さんもどうぞ。  
◎真野明日人(仏像彫刻師)

場 所：らいとびあ 21  
1F展示コーナー  
参加費：1,000円(材料費込み)  
小学生以下500円  
別途、ワンドリンク制  
申込み：072-722-7400

## セミナー

6/25 (日)  
14:00-16:00男らしく、女らしくより「自分らしく」生きる  
～あなたのそばにいる性的マイノリティ～

性的少数者(セクシャルマイノリティ)について、当事者の講師を招き、学びます。保育(1歳6カ月～就学前。定員5名。6/14までに申込み)あり。  
◎清水展人(一般社団法人日本LGBT協会代表理事)

場 所：市民会館(グリーンホール)  
参加費：無料  
主 催：箕面市人権施策室  
申込み・問合せ：072-724-6720

## 公演

6/25 (日)  
14:00-18:00

## 金剛山歌劇団 2023年アンサンブル公演『風になって』

日本で生まれ育った在日コリアンたちによって結成された総合アーティスト集団「金剛山歌劇団」。東京・小平市に本部を置く歌劇団の大阪公演。団員による圧巻の楽器演奏、歌唱、そして舞踊をお楽しみください。

場 所：八尾市文化会館プリズムホール  
(八尾市光町2-40)  
料 金：前売3,500円 当日4,000円  
主 催：金剛山歌劇団大阪公演実行委員会  
申込み・問合せ：06-6717-5381

## 上映会

6/25 (日)  
14:00-17:00

## 『アラン ラブソディ～海を越えたハルモニたち～』上映会とハルモニのトーク

川崎・桜本に暮らし、懸命に生きてきたハルモニたち。戦争を体験し、戦後を、たいへんな想いで生き抜いてきたハルモニ(在日のおばあさん)たちを、23年にわたって撮り続けたドキュメンタリー映画を上映する。また、上映後は金聖雄監督、ハルモニ、共同学習者によるトークも開催。

場 所：龍谷大学響都ホール校友会館  
(京都駅八条東口徒歩1分)  
料 金：前売1,300円 当日1,500円  
主 催：アランラブソディ関西上映会&  
ハルモニウトロ訪問実行委員会  
問合せ：080-4656-6014(三浦)

## 講演会

6/30 (金)  
14:00-15:30

## みのお中国文化に親しむ会 第66回講演会

「京都祇園祭・山鉾巡行に見る中国文化」をテーマに、映像を見ながら、その歴史をひもとく。後援：箕面市国際交流協会  
◎唐辛子(作家、コラムニスト)

場 所：箕面市立中央生涯学習センター  
2F講義室  
参加費：1,500円(大学生以下750円)  
主 催：みのお中国文化に親しむ会  
申込み・問合せ：072-722-6234(市村)

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール(略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得  
昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー  
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

## めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

## めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。このテーマをもっと掘り下げてほしい!」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか?」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中! info@mafga.or.jp までお寄せください。

## 編 集 後 記

コロナ禍に入ったころ、外出することに不安を感じたこともあり、自分の髪を自分で切ることにした。それ以来、バリカンで自分で刈っている。短髪にしたのでなんとかそれなりになっている、と自分では思っているが、やはり難しい部分もある。右手でバリカンを握るので、頭の左側や後頭部、後ろの生え際を刈るのは難しい。つむじのあたりは、どういう長さにとよいか、いまだによくわからない。長さ調整をしても、どうも段々になるようで、気になるのでさらに刈っているといつもほぼ丸刈りになってしまう。そんな試行錯誤が続くが、長めの短髪が短い短髪になっても気づかれることはほぼなく、誰にも何も言われない。

しかし久しぶりの人に会うとまた違う。コロナ前には長めの髪を黒く染めていたのだが、短髪にしたのを機に染めるのをやめた。急に白髪になった(ように見える)ので、自分でもその変化に初めはドキドキしたが、もうすっかり慣れてしまった。ところが最近、コロナ禍が落ち着いてきて、数年ぶりに人に会う機会が増えるとともに驚かれる。「いったい何があったんだ!」。いや、これが本物で、昔のが偽物です。

あるいは、半年ぶりくらいに親にあったら「なんだか髪が黒くなってるね」という。ほんまかいな、と美容師をしている妹に聞くと、そういうこともある、という。はたまた、2か月ぶりにあった知人からは「いい感じで白くなってきたね」ともいわれた。ときには白く、ときには黒く。いろんな見え方をするのか、と思うとなかなか味わい深い。あなたには、何色に見えるかな。人と会って、そんなどうでもいい話もできるようになってきた、ポストコロナの今日この頃である。(河合)

## アクセスマップ



## オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
  - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

## 阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
	阪急石橋から JR茨木方面から	92

## 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋真佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグワ ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター  
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みの多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/